

「人間から溢れ出るもの」(L'Humain débordé IV)

プログラム

第1セッション (10時30分～12時)

Problématique 1 : Quelques propositions préliminaires

—————Yasuo Kobayashi (UTCP)

Problématique 2 : La philosophie du débordement

—————Dominique Lestel (ENS Paris)

第2セッション (13時30分～15時15分)

講演 「アーティスト、シャーマン、そして民族心理学者」

—————マリオン・ラヴァル＝ジャンテ (パリ第1大学)

第3セッション (15時30分～17時15分)

講演 「俳優(ワザヲギ)とは、『人に非ず、優れたるワザ』、すなわち、非人間化・脱人間化の技法である」

—————鎌田東二 (京都大学)

第4セッション (17時20分～18時)

講演 「応答していく身体—ダンスが招き入れるもの」

—————山田せつ子 (京都造形芸術大学)

* コメンテーター：馬場智一 (長野県立短期大学)

(午前のセッションはフランス語のみで行われ、午後は簡単な通訳がつきます)

日時：2014年6月25日(水)

場所：東京大学駒場キャンパス・18号館4F コラボレーションルーム2

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」(UTCP)

上廣共生哲学寄附研究部門S2「人間と人間を超えるもの(人間中心主義からの脱却)」プロジェクト

